

安全データシート
1907/2006/EC, Article 31 準拠

印刷日：2015年3月24日

改定日：2015年3月24日

セクション1：化学物質等及び会社情報

- 1.1 製品の特定
 - 製品名：AURO412 Mould eliminator
 - 文書番号：412
- 1.2 関連する単体物質または混合物 関連情報なし
 - 単体物質または混合物の用途 表面の洗浄
- 1.3 本データシートの提供元の詳細
 - 製造元 AURO AG Alte Frankfurter Str. 211 D-38122 Bra
 - 販売元 アウロジャパン株式会社 東京都港区海岸 3-12-12-3F
 - 本情報に関する問い合わせ先：製品安全部門
- 1.4 緊急時電話番号：通常営業時間
 - TEL 0120-044-790 平日 8：30～17：30

セクション2：危険有害性情報

- 2.1 単体もしくは混合物の区別
 - 規制(EC) No.1272/2008 に準拠した分類
眼刺激性 区分2 H319 強い眼刺激。
 - 規制No.67/548/EEC または規制 1999/45/EC に準拠した分類
Xi； 刺激性
R36： 眼刺激
 - 人および環境に対する特定の危険有害性に関する情報：
最新版では、「EU 準備のための一般分類ガイドライン」の手順に従っており、本製品にラベルを付ける必要がある。
 - 分類システム：
本分類は EU リストの最新版に従い、企業および文献データから内容が追記された。
- 2.2 ラベル要素
 - 規制(EC) No.1272/2008 に準拠したラベル：本製品は CLP 規則に基づいて分類およびラベルされている。
 - 危険記号

**GHS07**

- 注意喚起：警告
- 危険有害性情報
H319 強い眼刺激。
- 注意事項情報
 - P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
 - P102 子供の手の届かないところに置くこと。
 - P103 使用前にラベルをよく読むこと。
 - P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／顔面保護具を着用すること。
 - P264 取り扱い後によく洗うこと。
 - P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - P337+P313 眼刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 2.3 その他の危険有害性
 - PBT およびvPvB 評価の結果
 - PBT：非適用
 - vPvB：非適用

(2 ページ目に続く)

(1 ページ目の続き)

安全データシート

1907/2006/EC, Article 31 準拠

印刷日：2015年3月24日

改定日：2015年3月24日

製品名： AURO412 Mould eliminator

セクション3： 組成／成分情報**- 3.2 化学成分： 混合物**

- 説明： 無害な他の化合物を含む以下の物質の混合物。

- 危険成分：		
	過酸化水素水 35 % ☹ C R35 ; ☹ Xn R20/22 ; ☹ O R8 R5 ☹ 強酸化性物質 区分 1、H271 ; ☹ 皮膚腐食性 区分 1A、H314 ; ☹ 急性毒性 区分 4、H302 ; 急性毒性 区分 4、H332	1-10 %
CAS : 64-17-5 EINECS : 200-578-6	エタノール ☹ F R11 ☹ 可燃性液体 区分 2、H225	1-10 %
CAS : 64-19-7 EINECS : 200-580-7	アセトン ☹ C R35 ☹ 可燃性液体 区分 3、H226 ; ☹ 皮膚腐食性 区分 1A、H314	< 1 %

- 追加情報：危険フレーズの全文はセクション 16 参照

セクション4： 応急処置**- 4.1 応急処置の説明**

- 一般的情報：本製品によって汚染されたすべての衣類を直ちに脱ぐこと。
- 吸入した場合：新鮮な空気を与え、医師の処置を受けること。
- 皮膚に接触した場合：一般に、本製品は皮膚を刺激しない。
- 眼に接触した場合：直ちにまぶたを開いて数分間多量の水で十分に洗うこと。症状が続く場合は医師に相談すること。
- 吸引した場合：直ちに医師を呼ぶこと。

- 4.2 最も重要な急性および慢性的症状と影響：入手可能な情報なし。**- 4.3 あらゆる速やかに医師の手当てや特別な処置の指示の必要性：**入手可能な情報なし。**セクション5： 火災時の措置****- 5.1 消化剤**

- 適切な消化剤：二酸化炭素、粉末または水噴霧。大規模な火災には、水噴霧またはアルコール耐性発泡剤を使用すること。

- 5.2 物質または混合物から生じる特別な危険性：入手可能な情報なし。**- 5.3 消防士のためのアドバイス：**

- 保護装置：特別な要求はなし。

セクション6： 朗詠時の措置**- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の手順：**

保護具を着用すること。保護していない人物は避けること。

- 6.2 環境に対する注意事項：

大量の水で希釈すること。

下水/地表水や地下水に流出させないこと。

- 6.3 封じ込めおよび浄化の方法・材料：

液体結合物質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能結合剤、おがくず）で吸収すること。

十分な換気を確保すること。

- 6.4 他のセクションの参照：

危険な成分は放出されない。

安全な取り扱いについてセクション 7 を参照すること。

個人用保護具についてセクション 8 を参照すること。

廃棄情報についてセクション 13 を参照すること。

(3 ページ目に続く)

(2 ページ目の続き)

安全データシート 1907/2006/EC, Article 31 準拠

印刷日：2015年3月24日

改定日：2015年3月24日

製品名： AURO412 Mould eliminator

セクション7： 取扱い及び保管上の注意

- 7.1 安全な取扱い上の注意事項：
 - 取り扱い場所で局所排気装置／器具を使用すること。
 - エアロゾルの発生を防ぐこと。
- 火災情報 - 及び爆発の防止: 発火源から遠ざけること。 - 禁煙。
- 7.2 任意の禁忌物質を含む、安全な保管のための条件：
 - 保管：
 - 保管室および保管容器の要求：特別な要求なし。
 - 適正な保管のための情報：要求なし。
 - 保管条件のその他の情報：容器を密閉して保管すること。
- 7.3 特殊な使用用途：入手可能な情報なし。

セクション8： 曝露防止及び保護措置

- 技術設備の設計の追加情報： データなし。；7項を参照すること。

- 8.1 曝露制御

- 使用場所でのモニタリングが必要な曝露限界を持つ成分：

過酸化水素水	
WEL	短期の値：2.8 mg/m ³ 、2 ppm 長期の値：1.4 mg/m ³ 、1 ppm
64-17-5 エタノール	
WEL	長期の値：1920 mg/m ³ 、1000 ppm

- 追加情報：作成中の評価されたリストは基礎として使用された。

- 8.2 曝露制御

- 個人保護具：
- 一般的な防護および衛生対策：
 - 食品、飲料、飼料から離して使用すること。
 - 汚染された衣類は直ちに脱ぐこと。
 - 休憩前と作業終了時に手を洗うこと。
 - 眼や皮膚に触れないようにすること。
- 呼吸保護：
 - 短時間の曝露または低公害の場合は、呼吸用フィルター器具を使用すること。集中的または長時間の曝露で使用する場合は、呼吸器保護具を使用すること。
 - 換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を使用すること。
- 手の保護：
 - 耐溶剤性手袋
 - 新しい手袋を使用する前に、透過性を確認すること。



保護手袋

手袋の材質は、製品/成分/薬剤に対して不浸透性で耐性がなければならない。
試験が不足しているため、製品/薬剤/化学物質の混合物については、手袋を着用することは推奨されない。
曝露時間、拡散速度および分解を考慮した手袋材料を選択すること。

- 手袋の材質
 - ニトリルゴム、NBR
 - 適切な手袋の選択は、材料に依存するだけでなく、品質にも影響し、製造業者によって異なることに留意すること。
 - 本製品は複数の物質の混合品であるため、手袋素材の耐性は事前に計算することができず、適用前に確認する必要がある。
- 手袋素材の浸透時間
 - 正確な浸透時間は保護手袋の製造業者が調査すべきであり、それを確認する必要がある。

(4 ページ目に続く)

安全データシート
1907/2006/EC, Article 31 準拠

印刷日：2015年3月24日

改定日：2015年3月24日

製品名： AURO412 Mould eliminator

(3 ページ目の続き)

- 眼の保護



密閉ゴーグル

セクション9： 物理的及び化学的性質**- 9.1 基本的な物理的および化学的性質**

- 一般情報：	
- 外観：	
形状：	液体
色：	製品特質による
- 臭い：	特徴的
- 臭い閾値：	未決定
- pH	8.2
- 物理的性質の変化	
融点／誘拐範囲：	未決定
沸点／沸騰範囲：	78 °C
- 引火点：	> 55 °C
- 可燃性 (固体、気体)：	非適用
- 発火温度：	485 °C
- 分解温度：	未決定
- 自然発火：	製品は自然発火しない
- 爆発の危険性：	製品は爆発しない。
- 曝露限界	
下限：	0.0 vol%
上限：	0.0 vol%
- 蒸気圧(20 °C)：	23 hPa
- 密度(20 °C)：	1.01 g/cm ³
- 相対密度：	未決定
- 蒸気密度：	未決定
- 蒸発率：	未決定
- 水への溶解性／混和性：	完全に混和する
- 分配係数(n-オクタノール/水)：	未決定
- 粘度：	
動的粘度：	未決定
動粘度(20 °C)：	38 s (DIN 53211/4)
- 9.2 その他の情報	入手可能な情報なし。

セクション10： 安定性及び反応性

- 10.1 反応性
- 10.2 化学的安定性：
- 避けるべき条件／熱分解：仕様に従って使用すれば分解しない。
- 10.3 危険な反応の可能性： 危険な反応は知られていない。
- 10.4 避けるべき条件： 入手可能な情報なし。

(5 ページ目に続く)

安全データシート
1907/2006/EC, Article 31 準拠

印刷日：2015年3月24日

改定日：2015年3月24日

製品名： AURO412 Mould eliminator

(4 ページ目の続き)

- 10.5 禁忌物質： 入手可能な情報なし。
- 10.6 危険な分解物： 危険な分解物は知られていない。

セクション11： 毒性情報**- 11.1 毒性作用の情報**

- 急性毒性：
- 一次刺激作用：
- 皮膚：刺激性なし。
- 眼：刺激性あり。
- 感作性：知られていない。
- 追加情報：

本製品は最新版として発行された「一般向け EU 分類ガイドライン」の順に従い分類されないものである。本仕様に従って取り扱われる場合、本製品は当社の経験および当社に提供される情報にいかなる有害な影響も与えない。最新版で発行された注意事項：
刺激性

セクション12： 環境影響情報**- 12.1 毒性**

- 水生生物毒性：関連情報なし。
- 12.2 持続性および分解性：関連する情報なし。
- 12.3 生物蓄積性：関連する情報なし。
- 12.4 土壌中での移動性：関連する情報なし。
- その他の生態学的情報：
- 一般的な注意事項：
ウォーターハザードクラス 1（ドイツ規制）（自己評価）：水にわずかに危険
少量であっても、地下水、水路または下水道に製品が到達しないようにすること。
- 12.5 PBT および vPvB 評価の結果：
- PBT：非該当。
- vPvB：非該当。

- 12.6 その他の悪影響：関連する情報なし。

セクション13： 廃棄上の注意**- 13.1 廃棄方法**

- 勧告：家庭ごみと一緒に廃棄しないこと。製品が下水道に流出しないようにすること。

欧州廃棄物カタログ	
07 06 99*	特に指定のない廃棄物

- 勧告：公的規制に従って処分する必要がある。
- 推奨される洗浄剤：水、必要に応じて洗浄剤と共に使用。-

セクション14： 輸送情報**- 14.1 UN 番号**

- ADR, AND, IMDG, IATA	無効
------------------------	----

- 14.2 UN 正式輸送名

- ADR, AND, IMDG, IATA	無効
------------------------	----

- 14.3 輸送危険有害性分類

- ADR, AND, IMDG, IATA	
- 分類	無効

(6 ページ目に続く)

安全データシート
1907/2006/EC, Article 31 準拠

印刷日：2015年3月24日

改定日：2015年3月24日

製品名： **AURO412 Mould eliminator**

(5 ページ目の続き)

- 14.5 環境危険有害性：	
- 海洋公害：	なし
- 14.6 使用者への特別な注意	非適用
- 14.7 MARPOL 73/78 及びIBC コード 附属書II に準じたバルク輸送	非適用
- UN “モデル規制”	-

セクション15： 法令適用

- 15.1 物質または混合物に固有の安全性、健康および環境に関する規制/法律
入手可能な情報なし。
- 日本法令
労働安全衛生法（通知対象物質）： エタノール、危険物 引火性の物
消防法： 危険物第4類 引火性液体 指定可燃物（エタノール）
- 15.2 化学物質安全性評価：化学物質安全性評価は実施されていない。

セクション16： その他の情報

この情報は最新の知識に基づいています。ただし、これは特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- 関連するフレーズ
 - H225 高い可燃性液体及び蒸気。
 - H226 可燃性液体及び蒸気。
 - H271 火災または爆発のおそれ；強酸化性物質。
 - H302 飲み込むと有害。
 - H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
 - H312 皮膚に接触すると有害。
 - H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
 - H332 吸入すると有害。
 - R10 可燃性。
 - R11 高い可燃性。
 - R20/22 吸入する及び飲み込むと有害。
 - R35 重篤な損傷のおそれ。
 - R5 加熱による爆発のおそれ。
 - R8 可燃性物質と接触すると火災のおそれ。
- SDS 発行部門：製品安全部門
- 連絡先：N.N.
- 略語と頭字語：
 - RID：欧州鉄道輸送規則（鉄道による危険物の国際輸送に関する規制）
 - IATA-DGR：国際航空運送協会（IATA）による危険物規則
 - ICAO：国際民間航空機関
 - ICAO-TI：国際民間航空機関（ICAO）による技術指導
 - ADR：欧州危険物国際道路輸送協定（欧州合意）
 - IMDG：危険物のための国際海事コード
 - IATA：国際航空運送協会
 - GHS：化学物質の分類と表示の世界調和システム
 - EINECS：欧州既存商業化学物質インベントリ
 - ELINCS：欧州届出化学物質リスト
 - CAS：化学情報検索サービス（アメリカ化学協会の部門）
 - 可燃性液体 2：可燃性液体 区分 2
 - 可燃性液体 3：可燃性液体 区分 3
 - 強酸化性物質 1：強酸化性物質 区分 1
 - 急性毒性 4：急性毒性 区分 4
 - 皮膚腐食性 1A：皮膚腐食性／刺激性 区分 1A
 - 眼刺激 2：重篤な眼の損傷／刺激 区分 2